

農政なら

編集・発行
奈良県農業会議(奈良市登大路町・県庁内)
TEL 0742-22-1101(内線5623~9)
FAX 0742-24-8576



写真)は、令和3年6月22日、奈良市法蓮町「ホテルリガーレ春日野」において第124回通常総会を開催しました。

県農業会議(増井勲会長、「コロナ渦で非常に厳しい状況下ではございますが、皆様のご協力もあり事業も順調に進めることが出来ました。農業委員会は『人・

農地プランの実質化』を積極的に推進することなど、農地利用の最適化を強く求められています。確実な実績の積み上げをお願い致しました」とあいさつしました。

総会では、新たな理事の選任が行われ、学識経験者から乾新弥氏、県市長会から並河健氏、県町村会から車谷重高氏の理事への就任が決まりました。

このほか、県下の農業・農業者の利益代表組織として、奈良県農業の振興発展と農家生活の向上を図り、本県農業の健全な発展を目指しました。

「オンライン講座」を開設

新聞デジタル事業の第一弾

全国農業新聞のデジタル事業の第一弾として、7月より「オンライン講座」を開講されます。名称は「スタディあぐり」。初回となる講習は、複式農業簿記を学ぶための「スタディ農業簿記」で、第1回講習は7月15日（木）13時30分～16時で、計6回の講習となります。

「スタディあぐり」は、主に学校や研修会に遠方で通えない方を対象に開講するもので、自分の農業経営を

もっとと発展させたい方や農業技術を身に着けたい新規就農者、野菜づくりのコツを知りたい家庭菜園のご主人など、ペテランからライト層までのあらゆる「農業者」を対象にした学びの場となります。2回目の講座は「スタディ青色申告」を予定しています。将来的には「スタディ農業安全」や「スタディ新規就農」などと幅を広げていくこと考えています。

P R・周知は、会議所ホームページのほか、提携する（株）マイナビの「マイナビ農業」で開始されます。また、全国農業新聞紙面での告知、各県の経営者組織へのP Rなども行われます。「スタディあぐり」は情報提供活動の強化とともに、既存購読者へのサービス強化による購読維持、「マイナビ農業」経由を含む新規購読者の新規購読者の獲得なども効果として期待されています。

回講習で受講料は各回300円（6回講習の場合）受講料は各回1500円となります。全国農業新聞購読者（1年以上購読）の方は、受講料「無料」となります。

令和3年度 第1回農業委員会業務担当者会議を開催

県農業会議は、令和3年6月14日（月）、樋原市城殿町「大和平野土地改良区大會議室」において、令和3年度第1回農業委員会業務担当者会議を開催しました。会議には、各市町村農業委員会事務局職員などが出席しました。

今回の会議では、トビイロウンカ注意報に関する情報提供と効果的な薬剤等の

紹介や農地転用等関係事務に係る変更点と注意点の周知、耕作放棄地等の非農地判断マニュアルにおける概要説明とマッチングを促進する新たな取り組み、「人・

農地プラン」実質化のための活動促進について県から説明を受けました。なら担当者は、農業委員会との連携について説明があり、農

地の出し手・受け手に関する情報提供依頼があります。県農業会議からは、調査活動や農業者等との意見交換会の実施、令和4年度から運用される農業DXの運用開始に関するデータ提供等に関する協力を呼び掛けました。



日 時	講習テーマ	受講料※
2021年7月15日（木） 13:30～16:00	第1回講習 貸借対照表と損益計算書 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中
2021年7月29日（木） 13:30～16:00	第2回講習 勘定科目の設定 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中
2021年8月11日（水） 13:30～16:00	第3回講習 取引と仕訳 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中
2021年8月26日（木） 13:30～16:00	第4回講習 元帳への転記と合計残高試算表 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中
2021年9月9日（木） 13:30～16:00	第5回講習 決算 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中
2021年9月16日（木） 13:30～16:00	第6回講習 パソコン農業簿記 (講座60分・実践ワーク30分・質問コーナー30分)	1,500円 受付中

”農“へのメッセージ



宇陀市農業委員会

会長 下村 雅清

不利地域の農地の利用・管理を同時に進めることがもとめられており、農業の持続的な発展に向け、人・農地プランに実効性あるものとするには、農業委員・推進委員が地域のコーディネーターとして関係機関と連携して活動に取り組むことが不可欠と考えます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により計画していまし

た事業が行えなかつたこともあり、今年は状況を見極めながら遊休農地に関する相談や農業者年金の加入促進及び全国農業新聞の購読促進に向けたPR活動等を行っていきたく思っています。また、水稻に大きな被害を与えたトビイロウンカが今年は昨年より早く発生するなど、農業を取り巻く状況は厳しいものといえます。

当市においてはさらなる高齢化や担い手不足による遊休農地の増加は深刻な問題となつており、将来の展望が見いだせない地域も存在しています。

農業就業者が減少する中、農地を適正に維持するには、担い手への農地集積と、条件

不利地域の農地の利用・管理を同時に進めることがもとめられており、農業の持続的な発展に向け、人・農地プランに実効性あるものとするには、農業委員・推進委員が地域のコーディネーターとして関係機関と連携して活動に取り組むことが不可欠と考えます。

令和3年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

「税金は難しい」と思つてゐる農業者・農業関係者が多いようです。しかし、農業経営に關係する税制のすべてが必要となるわけではありません。税制を理解して適切な納税に努めることは、農業経営の確立・経営管理の高度化にとって、今後ますます重要になると考えられます。

本書は、第1部で農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税、消費税から国民健康保険税まで農業者

に關係の深い19の税金について、文字通り「なんでもわかる」よう、あらましと各種の特例措置など最新の税制を網羅。第2部では農地税制の質問・回答を掲載し、実践的な質問についていねいに答えていきます。

今年は農業委員・農地利用最適化推進委員の改選となり、7月からは新体制となります。農業委員会をとりまく情勢は、日々刻々と変化しており、今後も農業委員と農地利用最適化推進委員が密に連携をとり、地域の農地が直面する課題に取り組んで行かなければなりません。

令和版 記帳感覚が身につく複式農業簿記（実践演習帳）

令和版「わかる」から「できる」へ複式農業簿記実践テキスト（下記参照）に対応した実践的な演習帳。

テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

令和版では表紙等のデザインを一新。題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。

いる都道府県農業会議のノウハウが詰まつた1冊です。

420円

（県農業会議関係会議日程）

7月2日
・常設審議委員会

7月10日

・令和3年度日本農業技術検定

8月2日

・常設審議委員会

8月21日

・農のマッチングフェア

9月2日

・常設審議委員会